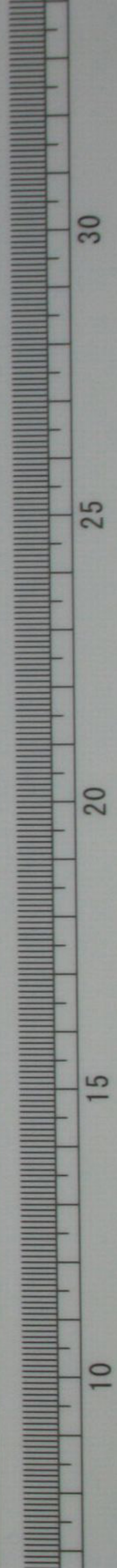


土岐文庫
文庫17
W217
5



文庫 17
W217
5



利本

紅毛雜誌卷之五

東都 森嶋中良

編輯



○ワートルハルス

ワートルハルスは其形桶の如く。上方は
廣く。下の方狭く。革は用て是は造り。革の紐を施
して固く結合せ。外面より勁輪を用て志ひ。桶製
し。腹並あり。用ゆるに際て。水を金刃小器
下。足の事。其眼の所。小孔を穿て。硝子
施し。

工毛雜誌 卷之五

010185195363

昭和六十年二月一日
土岐善彦氏 贈

作る本多清久の者小おほて他ら一む。好奉の人んん其汝
欲てむ。彼が疾小顧ゆしむ。

○佛狼機

寄園寄所寄に曰。飽汝名はらして佛狼機とり事。人多く
其多汝解せむ。近おは籌海圖編を閱して。始て仏狼
機と國の名ゆして。蓋の名おわらざると知る。明の正徳
年間。大なる船二艘。廣城の懷邑におりて云。仏狼機は
一り。貢汝奉らんと。使者の名加比丹。中良葉ふ小仏狼機ハアラシ
の言ハカビタニハ後多あり
番人の名も時小武宗南巡す。使使會同館小羈とる半
一年。あつて後在國小ゆす。依てけ製汝遣す。遂に

地汝ゆく其言小名はくく。誌しぬ。又明儒の
譯せり万国の番説め云。む。一。仏狼機の國王類斯と
り者。如德亜の地を対峙。割く大流汝制多と。おれ
より後。其法を法承に傳ふ。從てむ。おまらるる汝
自せて。彼大流を仏狼機とりも記せり。

○摩利支天

火星汝炎惑星あり。紅毛めてヨル区とり。アタールドブリに。
日おおきておはる星。軍神多りと疑せり。摩利
支天是より一と。家兄の流多り。中良葉あり
翻譯名義集お。摩利支此。陽をとり。日お

在して行^ゆと註^ししる。まゝに神^の者^は流^る摩^利支^天
神^として日^の前^にの神^となりし傳^へせり。ルスし
リシとの同音あり。のづかきをわらへんるあ、伯^の成^の
考^必せり。

○正レキテル

先^にあ家^の箱^を開^き國^の割^り法^の眼^をの友^と。後^に及^て黎^の春^を著^すと所^を乃^と。
紅^{いん}毛^と結^ぶあ出^でせる品^は。真^の物^ををんごうして画^りるあり。
今^にたよあしる物^は。家^の箱^の正^レキテル^の字^をありしる
あり。別^にあ散^らば^ば地^にて。洋^に説^をを記^すと。け蓋^しとや。
を箱^の人^の電^光の理^を究^めりて傳^へりわらうとらる。

磁^の蓋^{の中}のを先^づく志^じごまあり。全^の景^のの如^く箱^に
取^上り物^は。横^筒あ全^を系^に狭^み。其^の法^は成^ると産^し
しる人^はあ指^ささじ。紐^の紡^車やあましく也^し。良^有て火^を
取^持代^は。彼^の箱^の産^ししる人^の箱^にあつね。あしそ
火^に代^りせしる事^かし。
種^々の正^レキテル^の法^を新^製志^するも内^に。器^の式^の物^はあり
て。其^の法^はの横^筒は竹^筒に換^へり。車^は磁^蓋の陶^器
製^{して}造^りるなり。去^るも其^の用^は。在^る式^の物^は。遠^く
事^かし。

正レキテル散圖詳説



政
笑
画
述

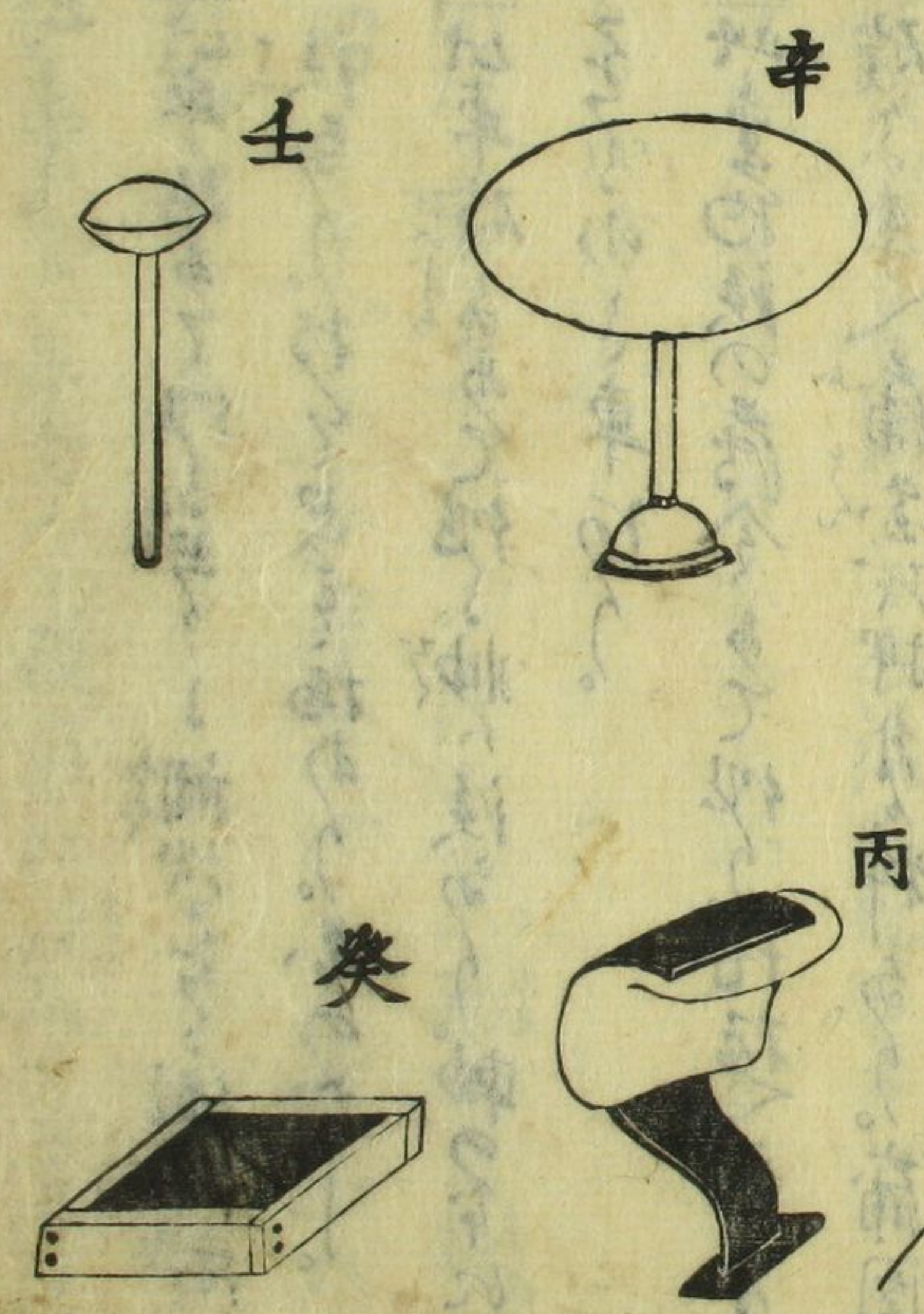
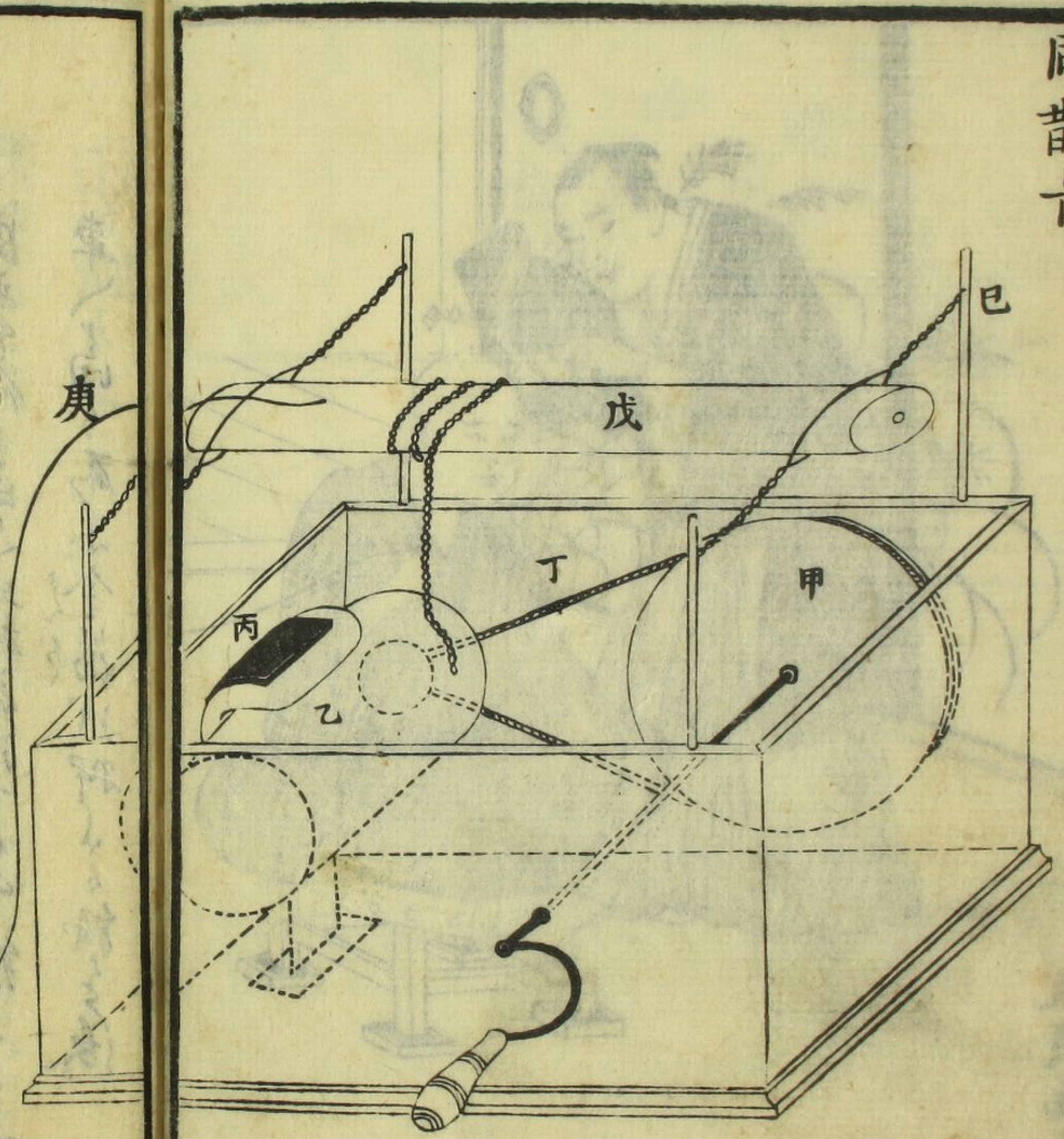
野
禮
之
爾
幾
之
面



同散晷

經義雜言

卷之五



工

雜言

卷之五

箱大^ナ縦^{タテ}去^キ人^ノ守^リ。横^{ヨコ}去^キ人^ノ深^カ八^ツ寸。板^{イタ}を^シ何^ノ寸^モ有^ルキ
キ^リす^べし。

甲^ツ付^ケ車^{クルマ}板^{イタ}あ^りて^ハ他^ノ。片^{カタ}り^ト洞^{アナ}深^カを^シ溝^ク深^カ彫^ル。持^テ是^レ疾^ハあり。折^ヒて^ハ是^レを^シ板^{イタ}あり。是^レの^ノ如^シし。

乙^ツ付^ケ車^{クルマ}硝^{シヨウ}子^シあ^りて^ハ他^ノ。軸^ワ深^カあり。軸^ワの^ノ下^ノに^ハ洞^{アナ}深^カを^シ是^レの^ノ如^シし。

丙^ツ此^レ是^レ物^{モノ}疾^ハの^ノ所^ト合^ハあ^りて^ハ他^ノ。地^チ板^{イタ}へ^テ折^ヒ付^ケ。是^レハ硝^{シヨウ}子^シ車^{クルマ}へ^テ蒲^ハ生^ハ皮^ヒ押^シ付^ケ。料^{リョウ}あり。蒲^ハ圓^マの^ノ棒^ヒ皮^ヒあ^りて^ハ他^ノ。中^{ナカ}へ^テ斑^ハ枝^エ花^ハ押^シ付^ケて^ハ他^ノ。硝^{シヨウ}子^シ車^{クルマ}へ^テ中^{ナカ}へ^テ斑^ハ枝^エ花^ハ押^シ付^ケて^ハ他^ノ。紙^シを^シ張^ル。

丁^ツ付^ケ洞^{アナ}未^ダ綿^{ワタ}糸^{イト}あ^りて^ハ他^ノ。

戊^ツ此^レ筒^{ツツ}去^キ流^リう^うく^ク法^{ホウ}。友^{トモ}の^ノ小^コ糸^{イト}指^{サシ}の^ノ次^{ツギ}を^シ是^レの^ノ如^シし。穴^{アナ}深^カ明^カ。是^レの^ノ如^シく^ク去^キ流^リの^ノ深^カを^シ是^レの^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。是^レの^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。是^レの^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。

巳^ツ付^ケ板^{イタ}去^キ流^リあ^りて^ハ他^ノ。上^{ウエ}に^ハ二^ニの^ノ小^コ孔^{アナ}あり。蒲^ハ糸^{イト}深^カを^シ是^レの^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。是^レの^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。

庚^ツ付^ケ糸^{イト}合^ハ糸^{イト}あり。横^{ヨコ}筒^{ツツ}深^カ狭^ヒく^ク糸^{イト}の^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。其^レ深^カ深^カ人^ノの^ノ如^シく^ク折^ヒ付^ケて^ハ他^ノ。

コストホシテイノ之器 二種

金瓶ハ括捲あり

漆めり

柱吹筒

上の

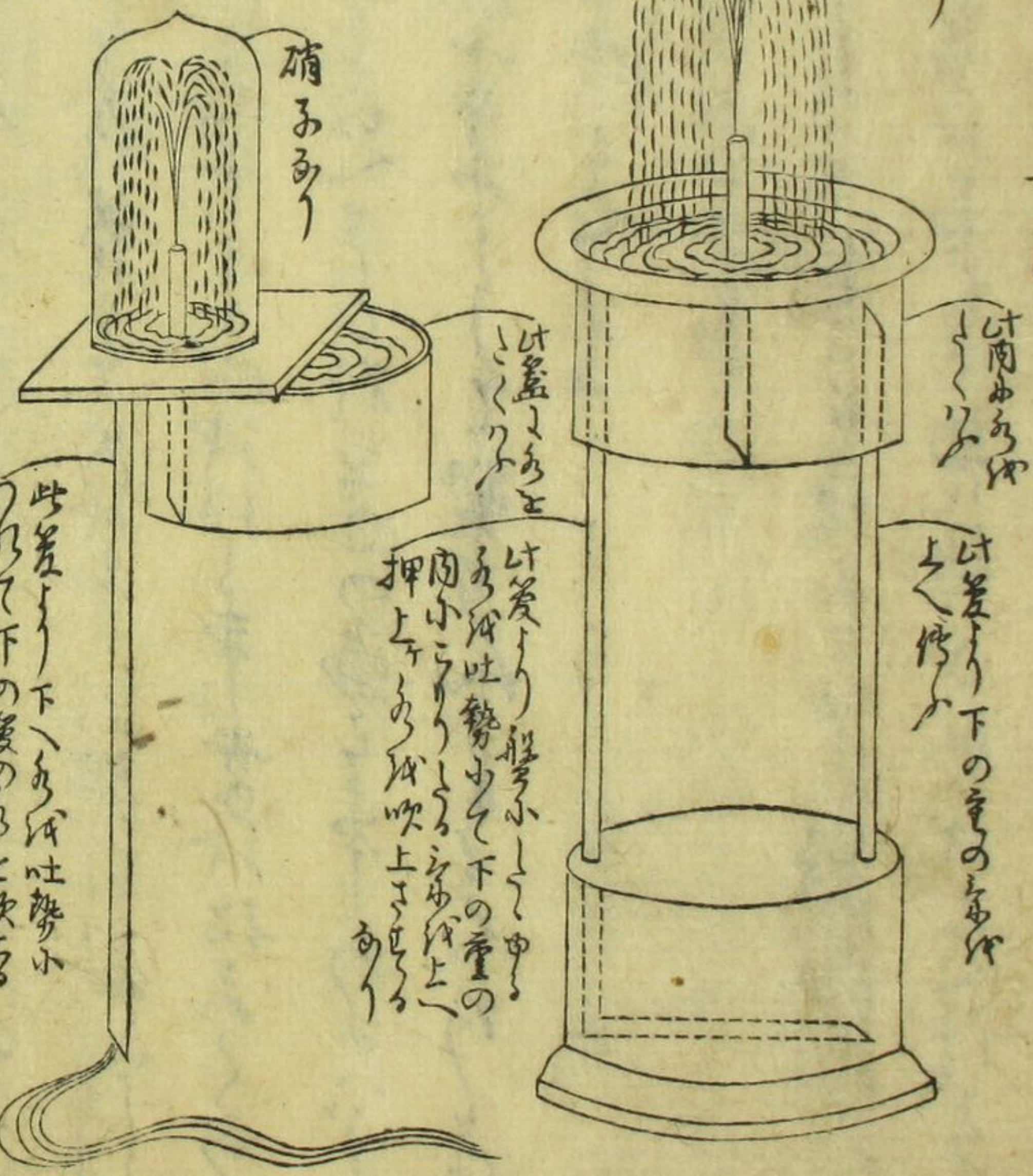
盤ハ

令めて

製是

ハ

硝子あり



此蓋ハ硝子

此蓋より下の硝子の水

此蓋ハ硝子

此蓋より下の硝子の水

此蓋より下の硝子の水

機園の噴水ハ此の如く小注し

○大船

既日多國王「プロメウスヒロパーテ」ある者。大船一艘

長サ八十丈。廣十一丈四尺。サ八十丈。帆柱の上を

又其波を伝ふ。長サ二十丈。是宇宙第一の大船。

泥祿河を流す。料あり。又西奈里亞島の内。

セイラクスノ國王も大船を傳ふ。天文師。亞而幾雲傳

あり。其船中兵卒の陣營

あり。工匠の居宅あり。莊嚴の寺觀あり。戲場有。

浴室あり。演武場あり。殿あり。園圃池構て

本印極地泥を穿て河魚を高ふ。又肉扇を横を
 ましけし連磨あり。あまの船は新し狹き船中
 の揺小気船の和舟は洋鐵の埃をを。船先と艦邊に
 石を深く砲車あり。長丈の丈を船と奴あり。
 矢落つ丈の和舟及び他百物を具とす。アテ子ウ
 が紅毛法玉の奇法を轉々書ふ載る。家兄の
 物語あり。隨の場帝の汗河み流る人船に船の
 塵ありあり及る。

紅毛雜言卷之五 終

附録

紅毛服飾之圖



江戸雑言 卷之五

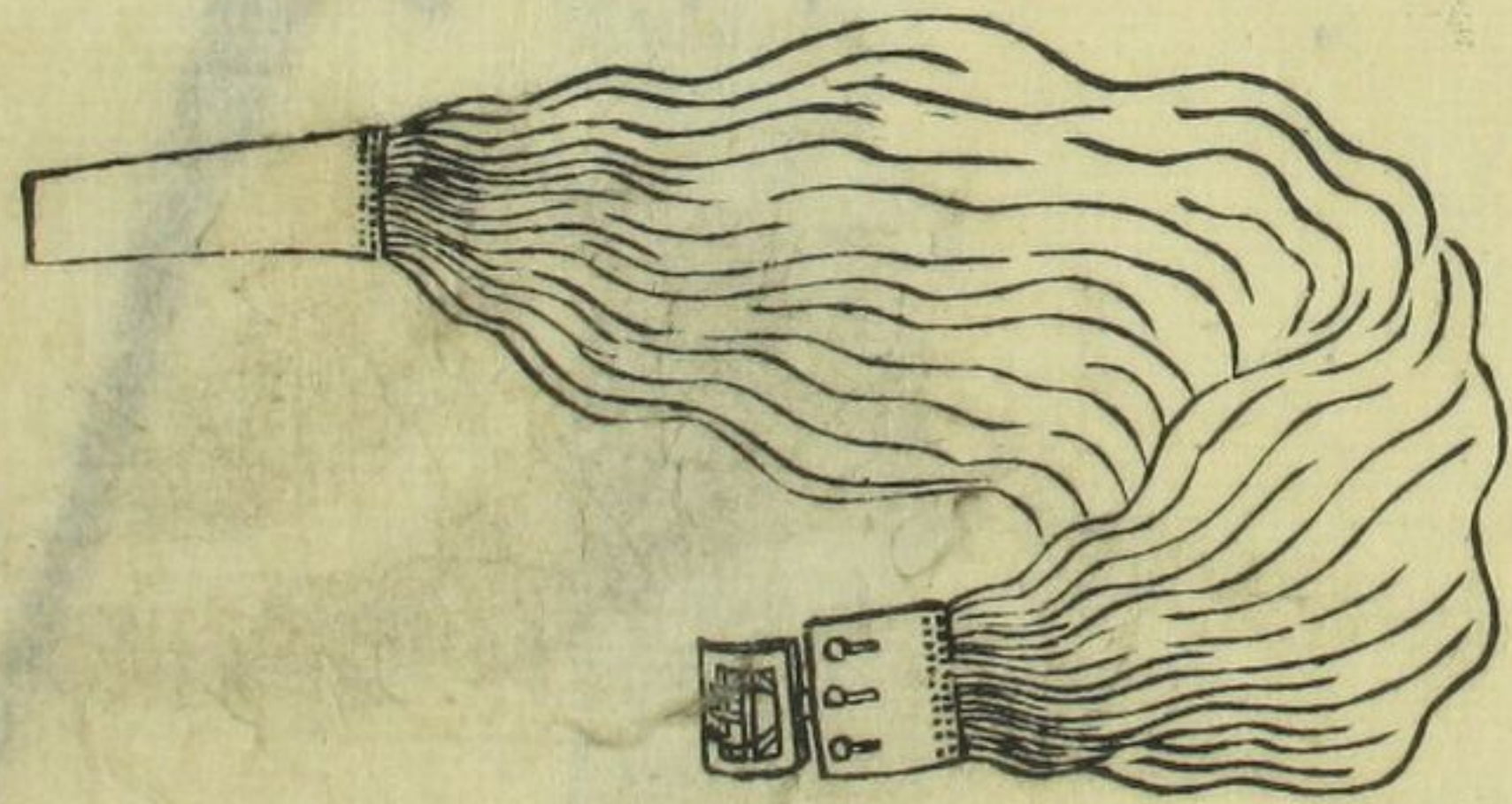
簞たな 變名「ウー止」

ベイフルと云ふ款の毛
めて造る。黒。白。褐色
のおわり。縁は金浪の
無縁きりぎりはをくもり
又無きりぎりざるとあり。



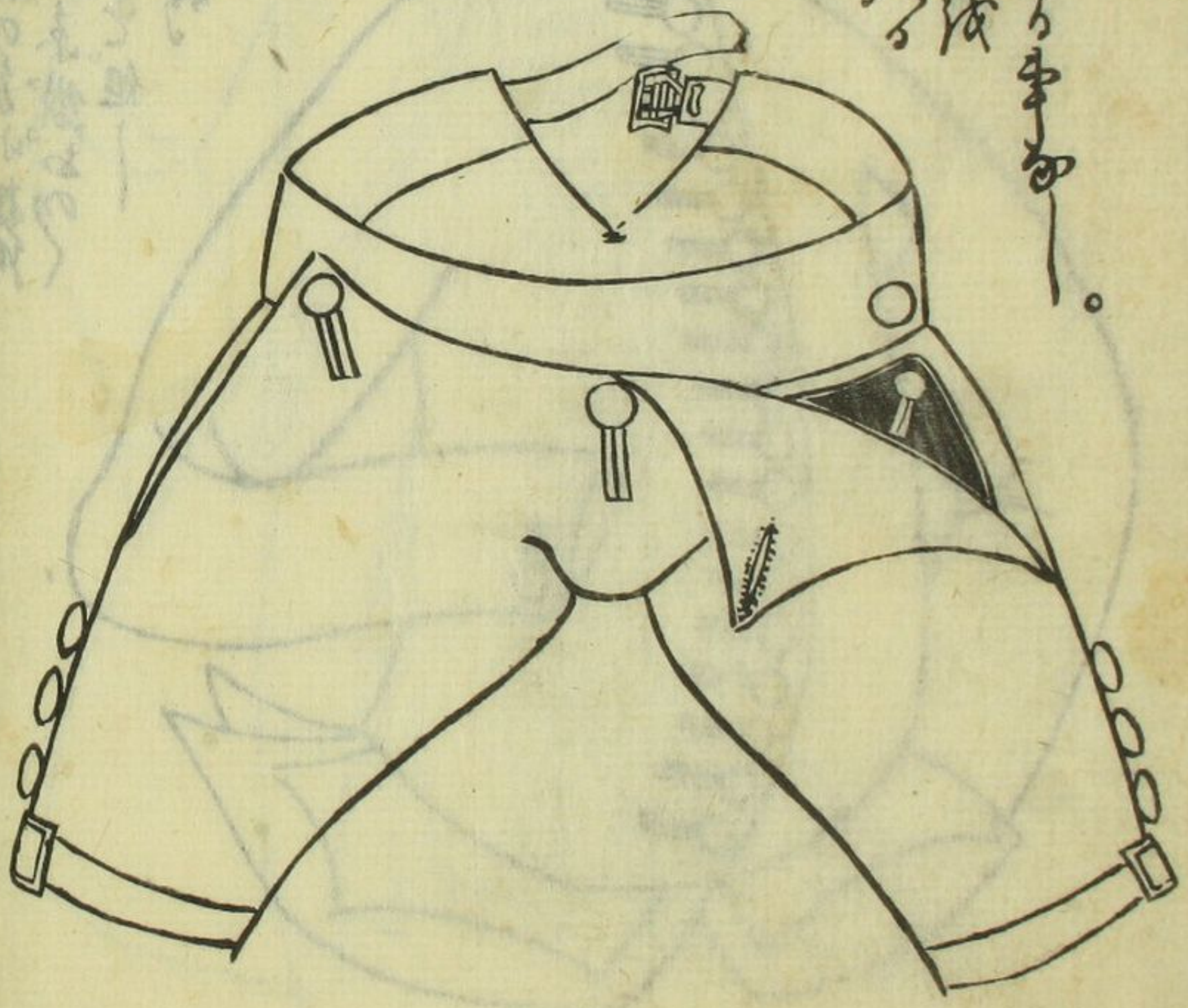
風領かざり 牙ス

白く西洋布かきんは用て製せ。
一幅の支那あしやは子こ結むすみ
くくし。金々かねかねとて志こころむふ
やうか作つくる。赤色の赤く
あつたつと志こころむあり。



袴ヨブルーク

地合定まりしりまきか。
 糸の糸に紐鉤成
 ろつしと物と合
 取あり。を内ふ
 又にけうておと
 つる紐。あび
 後の紐。あび
 膝の下の紐。こ
 をおありて
 去じりやうあす。
 その合おあす。
 下あああり。



莫ヤ大モ小トヨウス

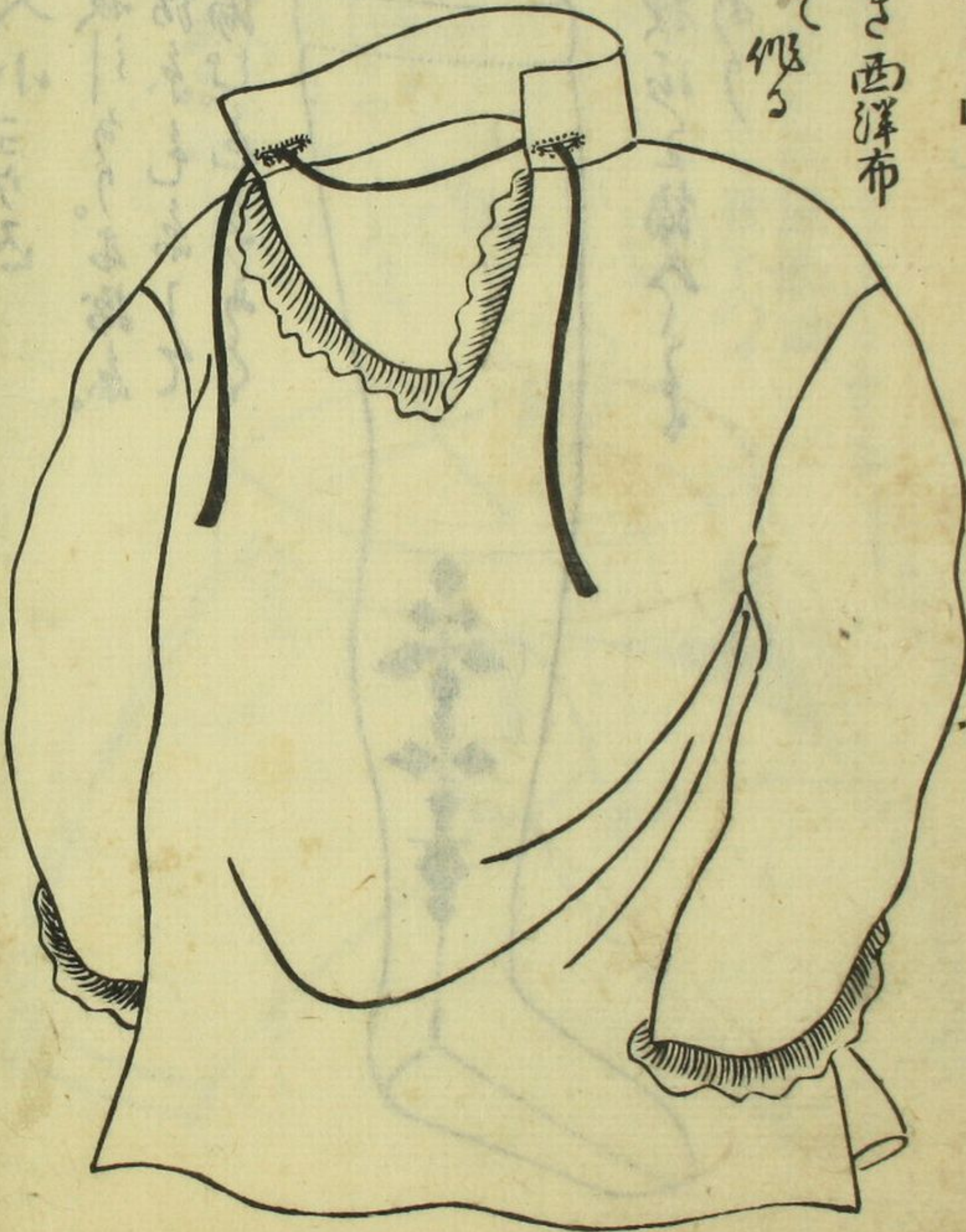
段引あり。本糸糸。
 紡糸糸糸して
 編む。糸糸あす。



横糸と編へしりま
 あり

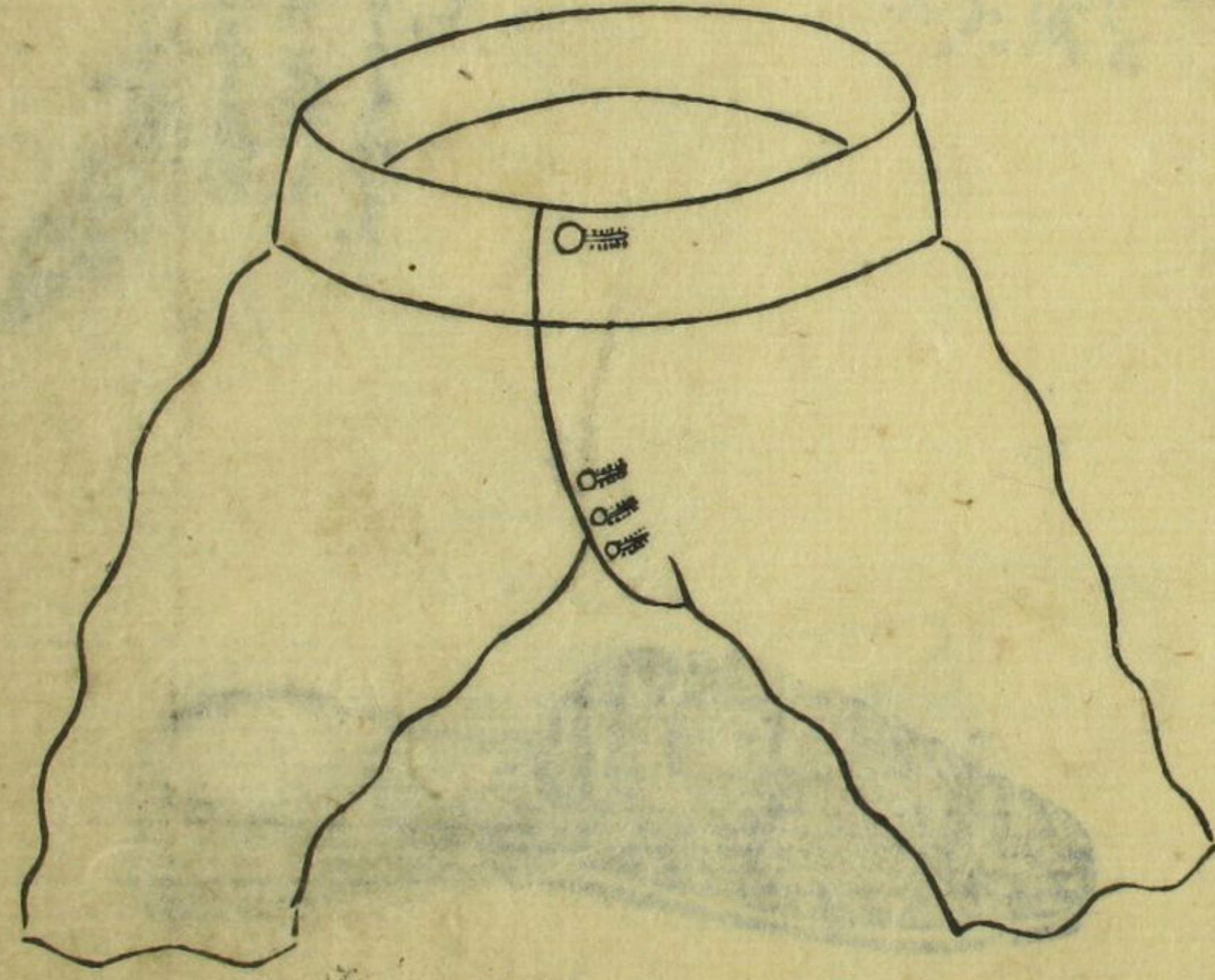
襦 へムト

白き西洋布
少て
似る



禪 ヲンドルブルウ

上
あ



工
シ
庄
古
ト
ト
ト

履「モイル」

底ハ革なり。上の方ハ
天裁^{たいざい}絨^{じゆう}めて法。全浪^{ぜんろう}の
全貝^{ぜんがい}めて換^か換^か直^ち直^ちく。
又革^{また}して張^{ちやう}くもなり。
一やうなり。



襪「ターピス」

裁^{さい}めて作^{つく}る。紐^{ひも}と
志^しひる全具^{ぜんぐ}次^じ
ゲスプルと^とり。
下に^{した}張り。



公逝不取也舍此無夫
奇而信偉而實卓越乎
槃瓠範圍之外迨詣
乎眎聽忖度之表曠古
之所未曾知生籍之所

不經錄媿談新說可
喜可愕者邪嗚呼覆
載之亡垠塊比之陰
奚物不有惟其有之
是以似之若乞書也

則余知其非立言矣
天明丁未之秋

東都字晉識



紅毛雜話跋

亞太臘之山萬里而高矣登者必裹數月
之糧也然而其登也必自一步始步之不
止俄而足臨絕頂乃天象地維昭々乎集
目者其亦奇哉夫和蘭之學出于自然切
于作成者也即自天文曆數地理方程之
事以至日用居家百爾瑣々亦復無幽之

不窮無微之不悉蓋其風也是故人之望
 之謾然自何舉踵森島君著此編也雖則
 雜話乎後學之士梯之而進亦可以辨前
 路也歲月之久汲々不怠則於夫天象地
 維昭々乎集目者亦何有乎哉

前野達



森島二郎著述書目

西洋奇談

近刻全五冊

紅毛雜話の次篇也初編の内
 毛はたふ事と初編の載り被邦
 母く用ゆる武具うらふとくはく
 易鏡を以て附録を

万象雜俎

同全十冊

天文地理とけり万國の内ありゆ
 事終とある一巻は本邦乃故事
 古言ありゆる部とけり
 見やす集なる書なり

天明七丁未年九月發行

日本橋北室町三丁目

東都書肆

須原屋市兵衛梓

